

株式会社 BAN-ZI

- 所在地：〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町 118
- 代表者：代表取締役 宮原万治
- 創業・設立：2009 年
- 事業内容：特殊塗料の開発・製造、エコ塗料の開発・製造
- URL：http://www.ban-zi.jp/



【取材対象者】

代表取締役 宮原万治氏

【失敗をしなさい！？錆は止めても試行（思考）は止めるな！！】

水性錆止め技術の先駆けとなった錆転換塗料の開発。

塗料業界に革命を起こしたサビキラープロが公共施設や食品工場で使用されるに至った理由とは。

■サビキラープロを開発した理由

サビに困っている人は多い。というのもサビは止まらずに進行し続けるからだ。そこで通常の油性さび落としではできない、サビを化学変化させ、進行しないサビに変える水性塗料を開発した。また、水性であるため乾く際には水が揮発する。油性はシンナーが揮発するため安全性が低いサビキラーにはその心配がない。それらの理由から、公共施設や食品工場などにも使われるようになった。

■商品が社会に与える影響

まず、日本に与えた影響としては、水性の特殊塗料開発の先駆けとなった。このエコで安全な水性塗料によってこれから、アメリカ、中国などの海外にも貢献できる。今はできていないけれど、必ず世界に貢献する。

■商品購入者について

インターネット販売では 200g のものがよく売れている。これはおそらく DIY や車に使われているからだ。1kg の商品は 40 代以上のお客様が買っていかれる。

■創業してから今までの思い出深いエピソード

ホームセンターでサビキラープロを 1 つだけ置いてもらい、それが売れた時涙が出るほど嬉しかった。

■従業員について

・モチベーションを上げるために行っていること

人の役に立っているということを実感してもらおう。知ってもらおうことだ。

また、モチベーションは、与えられるものではなく内から出てくるもの。社長自らが何かしてモチベーションをあげるということはない。

・どのような姿勢で仕事をして欲しいか

仕事に対して目標を持ち、やりたい仕事をしてもらいたい。

・従業員と意見が対立した場合、どのように対応しているか。

まず対立にならない。従業員たちが持ってきた案をさらにいいものに社長が進化させる。

いつもその手があったかと感嘆させられる。(従業員談)

■座右の銘

執念がある人は希望から、執念がない人は困難から発想する。

これは座右の銘ではないが、普段従業員に「うさぎとかめ」の話で、どうしてうさぎはかめに負けたのかということを問うている。答えは「うさぎはかめを、かめはゴールを見て走っていたから」だ。ゆっくりでもいいから目標以外に気を取られずにやっていけばいい。

また、「チャンスは困難に混じってやってくる」というのも大事にしている。これは本当にそうで、例えばお客様からのクレームは改善のための財産であるから大事にしたい。

■20歳の頃は何をしていたか

17歳から土木業をしており、その頃にはトラックを3台持っていた。20歳の頃は土木業の社長だった。もしその頃に戻れるのならば、もっと海外に行きたい。もっと世界を見て勉強してみたかった。

■これから20歳になる人へのアドバイス、メッセージ

大人子供は関係ない。20歳は何かをする、しないの区切りでは決し

てない。やりたいことをやっていないのなら、やりなさい。

チャレンジしないという後悔は、したくない。チャレンジしたなら後悔はあり得ない。チャレンジしたことでの失敗ならば、それは後悔ではなく財産だ。失敗をしなさい。

■編集後記

◎細野弥月

月並みではありますがBAN-ZI様を訪ねて初めに抱いた感想は、なんて暖かい職場なのだろうということです。部屋に入れば一同起立であいさつをしてくれ表情は柔らかく、変な話このご時世、ここまで楽しく仕事できるものなのかと思いました。その理由は宮原社長の働き方に対する考え方が大きく影響していました。失敗をしなさい。休む時は休みなさい。経営者としての技量はもちろんのことですが、途切れることのない発想や、柔軟な対応は、社長の人生経験が生んだカリスマによるものなのだと私は考えます。そして、インタビューに行った我々はその片鱗に触れることで、年齢19の自分には到底得られない人生観や生き方を吸収し、自分に充てられるというのとはとても有意義なことだと思います。

このたびは誠にありがとうございました。

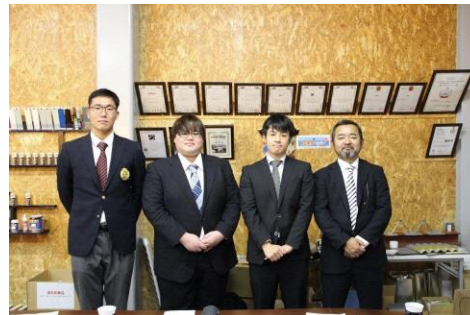
◎黒木龍

私がBAN-ZI様を訪ねることになり最初に思ったことは塗料を作る会社とはどんな会社なのだろう？です。実際に訪ねてみたところ宮原社長のお気遣いや社員の皆様の温かい歓迎を受け、会社内での雰囲気も良く、働きやすい会社なのだろうなという印象を受けました。宮原社長にインタビューしていくにつれ感じた

ことは、とにかく熱い会社！です。社員の挑戦する気持ちを大事にすることが今のBAN-ZI様の成功につながったのかなと感じました。この度は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

◎柳澤天夢

最初に私が思ったことはBAN-ZI様で働けば自分のベストな働きをすることができるということです。宮原社長は私たちにとってもわかりやすく、尚且つ面白い話をしてくれました。私の将来の就職先がこのような社長が経営する会社だったら働きやすく、何でも相談できて、楽しく仕事をするができると思いました。あまり興味をもてなかったサビ落としも、話を聞いていくうちにとても興味を持つことができました。このような機会を与えてくださった千葉市の方々、BAN-ZIの皆様、本当にありがとうございました。



■敬愛大学経済学部経営学科粟屋教授より総評

我々の普通の生活現場で錆を目にすることはあまりない。それは当たり前前ではないことを同社の存在により改めて認識させられた。訪問した学生3名は、特殊塗料の中でも「錆止め」に特化した塗料の開発に勤んでいる点に興味を持ち、訪問する運びとなった。

代表取締役の宮原万治氏は、「地球上に水と空気がある限り、増え続ける錆に待たされたをかけられるのは弊社独自の技術力である」とし、「塗料で世界に貢献していく」ことを同社のHPで述べておられる。身近な「困った」を解決するビジネスは、まさにCSRである。

社会の課題に果敢に挑戦される宮原社長、またスタッフの方々に感謝申し上げます。